

図書館通信

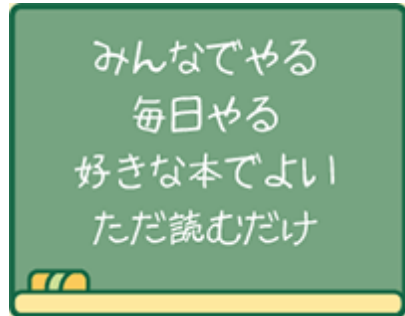
最上校図書委員会
No.4 5月17日



第1回 朝読書が始まります

期間 5月27日(月)～6月7日(金)
時間 8時20分～8時30分(10分間)

朝読書の4原則



※朝読書記録カードに、記入しましょう。
※雑誌やマンガ以外、読みましょう。
※本は前もって準備しておきましょう。



☆・☆・☆・☆・☆・☆・☆. 新たな一步を踏み出した

フレッシュなあなたにこそいろいろなジャンルの本を

読んでほしい! ☆・☆・☆・☆・☆・☆・☆.

若い人たちが本を読まなくなったと言われて、久しくなります。
若い人たちが本を読まなくなったという、年上の人たちの言葉は、若い時にこそ本を読むべきであったという、後悔の言葉でもあります。
あなた方のみずみずしい感性、好奇心、柔軟な思考、そうしたものを豊かに持ちあわせている〈若いとき〉に読書をする事は、あとの生き方に必ず大きな実りをもたらします。あなたの読書を日常のなにげない習慣にすれば、思いもかけない幸せな「本との出会い」がきっとやってくるに違いありません。

5月図書館企画 朝読書特集

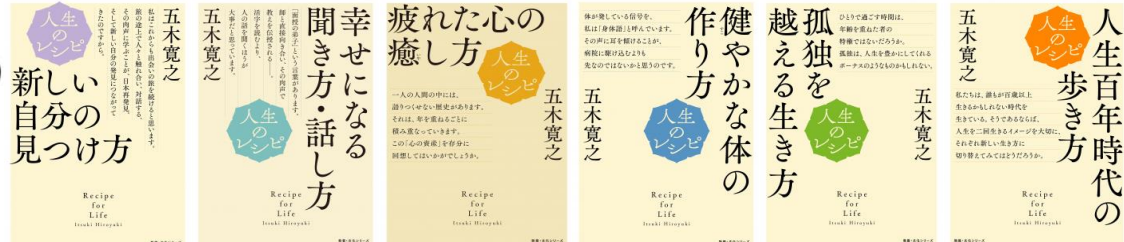
朝読書、高校生に読んでほしい本!



人生の大大大先輩、五木寛之の著書を揃えました。

五木寛之による令和の新シリーズ、刊行開始!

90歳になった作家、生き方の先輩五木寛之がいま一番に伝えたいこととは何か。人生の岐路に立っている、高校生の皆さんに読んでほしい。



『決定版日本の給料&職業 最強DXリニューアル版』

あらゆる職業をファンタジー風のイラストにし、ゲームのような世界観に落とし込んで紹介、平均給料、仕事の内容・就き方などリアルな情報も掲載しています。e-sports 解説者、アウフギーサーなど新職業大量追加&イラストの一部リニューアルで掲載職業数は過去最多の540種。誰が読んでも楽しめます。

『こどもSDGs 達成レポート』

日本では、まだ二つの目標しか達成できていません。これから私たちは何を行えばよいのか、SDGsの学習に役立つ1冊です。

『10代のきみに読んでほしい人生の教科書』

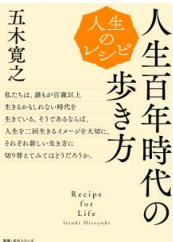
悩みを抱える10代、保護者、かつて10代だったすべての人に向けた、令和を豊かに生きるための道しるべとなる1冊です。

『最高の職業と進路が見つかるガイドブック』

やりたいことがわからない高校生のための 最高の職業と進路が見つかるガイドブック。

『プロの履歴書からわかる生きものの仕事』

生きものの仕事のなり方、プロの仕事人が教えます!



朝読書にオススメの新刊!



『東京都同情塔』 九段 理江著



ザハの国立競技場が完成し、犯罪者は同情すべきという「寛容論」が浸透したもう一つの日本で、新しい刑務所「シンパシータワーキーヨー」が建てられることに。犯罪者に寛容に出来ない建築家・牧名沙羅は、仕事と信条の乖離に苦悩しながらパワフルに未来を追求する。

『アイスネルワイゼン』 三木三奈著



32歳のピアノ講師・田口琴音は、最近、仕事も恋人との関係もうまく行っていない。そんな中、久々に連絡をとった友人との再会から、事態は思わず方向へと転がっていく。静かな日常の中にひそむ、静かな崖っぷちを描き、心ゆすぶる表題作。

『猿の戴冠式』 小砂川チト著



32歳、琴音の「静かな崖っぷち」
茶川賞候補作

いい子の冠はヒトにもらうものでなく、自分で自分に授けるもの。わたしたちには、わたしたちだけに通じる最強のおまじないがある。

『Blue』 川野芽生著



社会的規範によって揺さぶられる若きたましいを痛切に映しだす、いま最も読みたいトランスジェンダーの物語。

『冬に子供が生まれる』 佐藤正午著



その年の七月、丸田君はスマホに奇妙なメッセージを受け取った。現実には起こりうるはずのない言い掛かりのような予言で、彼にはまったく身におぼえがなかった。送信者名は不明、090から始まる電話番号だけが表示されている。彼が目にしたのはこんな一文だった。今年の冬、彼女はおまえの子供を産む。

『暗殺』 赤川次郎著



大学受験の朝、駅で射殺事件を目撃しながら通報を怠った麻紀。やがて親友の恋人として再び姿を現した犯人は職業的殺人者だった。一方、事件を追う刑事のこみは現役大臣の秘書と交際するうち、大臣の特殊な性癖と周囲の不審な事件を知り、密かに調べを進める。殺人の構図と人間の暗部が読者を打ちのめす傑作。

『成瀬は信じた道をいく』 宮島未奈著

成瀬の人生は、今日も誰かと交差する。「ゼゼカラ」ファンの小学生、娘の受験を見守る父、近所のクレーマー主婦、観光大使になるべく育った女子大生。個性豊かな面々が新たに成瀬あかり史に名を刻む中、幼馴染の島崎が故郷へ帰ると、成瀬が書置きを残して失踪して!?

『風に立つ』 柚月裕子著



家族だから伝わらない思いがある。非行少年を預かることになった不器用な父と子。

『シャーロックホームズの凱旋』 森見登美彦著



「天から与えられた才能はどこへ消えた？」舞台はヴィクトリア朝京都。洛中洛外に名を轟かせた名探偵ホームズが、まさかの大スランプ!?

『彷徨う者たち』 中山七里著

復興が進む被災地に根ざす人々の間で激しく揺れ動く心を描きながら完全密室トリックの謎に迫る。

『犬は知っている』 大倉崇裕著



癒やしのファシリティー犬〈ピーボ〉とわけあり警察官が知られざる重大事件を鮮やかに解決! 死を前にした犯罪者はピーボに癒やされ、語り出すのだった。そしてピーボとコンビを組むハンドラーの笠門巡査部長は捜査を開始する。史上初、犬が主役の警察小説!

『ファラオの密室』 白川尚史著



冥界の審判を受けるため、かけた心臓を探しに3日間だけ現世に蘇ったミイラのセティ。地上では王の遺体がピラミッドから忽然と消え、人々はアテン神以外の信仰を禁じた王の意思ではないかと疑う。不可能犯罪か神の御業か!? 古代エジプトの信仰を背景に描かれる本格ミステリー!

『ジョニ黒』 永井ミミ著

1975年、横浜。少年アキラと“犬”とのひと夏の冒険が始まる。欠落を抱えて生きる大人たちと、鬱屈を抱えて生きる子どもたち。ままならない世界の哀しみと愛しさが胸にこみ上げる。

※ぜひ、図書館へ